

Close-up Interview (10月号 表紙の顔)



川崎 由意

YUI KAWASAKI

(Photo / 馬場高志)

「悔しさをバネに 5年目のブレイク」

今年の女子プロ新人戦で、デビュー 5 年目のラストチャンスをもものにして初タイトルを獲得した。

「反響は大きかったですね。こんなに喜んでもらえるんだ、優勝ってすごいことなんだなって改めて思いました」

48 期では 5 人目のタイトルホルダーとなった。

「同期が活躍していなければ、自分もこれぐらいでいいかと思うかもしれない。でもみんなレベルが高いので、追いつき追い

越そうと、精神的に引っ張られています。48 期はレギュラーツアーでは 6 個もタイトルを取っているのに、新人戦はまだだれも取っていない。今年が出場できる最終年でもあったので、だれかが取りたいねという話をしていましたが、決勝トーナメントの 8 名に残った時点で優勝を意識しました」

5 月のグリコセブンティーンアイス杯では、1 位通過で決勝に進みながら、決勝シュートアウトでは自分のボウリングを

きずに 4 位に終わっていた。

「4 人残ったなかで自分がいちばん下手だと、ネガティブな気持ちになっていた。その時点で負けていますよね (苦笑)。新人戦のときは、強い気持ちで臨めました。その辺はグリコのと時からひとつ成長できたかなと思います」

大学入学前の春休みに遊びに行き、ハウスボールで 200 アップを出したのが、ボウリングにはまるきっかけだった。それからわずか 3 年でプロのライセンスを手にする。

「高校までは剣道をやっていました。進学した駒澤大学でも続けるつもりでしたが、ボウリングをやってみて、こんなに楽し



▲所属するアイキョーボウルでは、トロフィーケースを作り、優勝記念の展示コーナーが設けられている

いスポーツがあるんだと思って、たまたま体育会のボウリング部があったので入部しました。プロテストを受けるときは、周りのみんなからは受かりっこないといわれましたが、自分だけは楽観的でした (笑)」

プロ入り後は、P★League に起用されたこともあって名前は知られるようになったが、さすがにキャリア不足を隠せず、トーナメントではなかなか結果を残せなかった。

「チャレンジで呼んでもらうことも多いんですが、お客さんに、このプロなら勝てると思われるのが、悔しくてしょうがなかった。だから毎回ガチンコ勝負の気持ちで臨んでいましたが、それが成長の助けになったんじゃないでしょうか。最初が下手だった分、ノビシロは大きかったと思います (笑)。1 年目の新人戦

は後ろから 3 番目ぐらいだったのが、5 年目で優勝できるところまでできました。でもまだまだ足りないところはたくさんあります」

遅れてやってきた大器は、今ようやく離陸の準備を終えたいばかりだ。

(取材&撮影協力: アイキョーボウル)

川崎プロと一緒に投げよう! 近日開催のチャレンジマッチ

- 10月12日 神奈川・相模原パークレーンズ
- 10月13日 千葉・アイキョーボウル
- 10月22日 長野・ヤングファラオ
- 10月27日 愛知・オレンジボウル

かわさき・ゆい / 1993年12月2日 千葉県生まれ。156cm、右投げ。2015年プロ入り(48期/ライセンスNo.533)アイキョーボウル・サンブリッジ所属/タイトル1

FOCUS UP

台風接近も何のその。キャプテンサンタとコラボした「KORN'S BOWL」は大盛況!



▲左から Bro.KORN、キャプテンサンタ (マスコット)、下山社長、大会プロデューサー兼進行役の扇氏

ボウリング愛好家として知られるアーティストの Bro.KORN 氏が主宰するボウリング大会「KORN'S BOWL CLASSICS」がさる 9 月 8 日、東京ボウリングセンターの 5 階フロア (40L) を借り切って盛大に催された。

腕前を問わないフリーエントリーの大会で、競技はハンデ制を採用し、アメリカン方式 (レーン移動はなし) の 3G トータルで争われた。矢島純一 (1 期)、井

口直之 (41 期)、吉田樹式亜 (46 期)、越後裕哉 (48 期)、谷合貴志 (52 期)、キム・ソヒョン (女子 52 期) の 6 プロがゲスト参加したほか、歌手の西口久美子 (青い三角定規)、松平直子 (パドロ&カプリシャス 3 代目ボーカル)、俳優の黒田アーサー、DJ のルーシー・ケント各氏も一般参加者に混じってボウリングに興じていた。

1955 年 (昭和 30 年) 生ま

れの KORN 氏は「小学校時代から毎週末は友だちと近所のボウリング場に行って投げて、テレビでは中山律子さんたちの活躍をリアルタイムで見ていた」という、往年のボウリングブームの直撃世代。芸能界入りしてしばらくはボウリングから遠ざかっていたが、ラジオ番組で知り合った扇一平氏 (元文化放送アナ) に誘われて再びハマったそう。

「15 年くらい前からコンペには出ていたんですが、だんだん自分でやってみたくなって、扇ちゃんに相談したら『準備から当日の進行まで全部仕切ってや

る』と (笑)。年 2 回ペースで開催してきて、今回が 9 回目。地方で開催した大会を含めると 12 回になります」(KORN 氏)

今回は「×CAPTAIN SANTA」として、人気アパレルブランド「キャプテンサンタ」を展開する、株式会社ジョイマークデザイン・下山好誼社長が主宰する同社のボウリング大会とのコラボが実現。当日は大型の台風 15 号が関東地方に向かって北上中という、危うい気象状況だったにもかかわらず、参加者は過去最高の 170 人に達した。

「下山社長もボウリングが好きで、KORN とはお互いの大会に

出場し合っている仲。実はどちらの大会もボクがプロデュースしているんです。今年は下山社長の会社が創業 50 周年ということで、その記念として合同開催を提案しました。文化放送時代に番組プロデュースも担当していたので、縁の下の仕事には慣れていましたから (笑)」(扇氏)

ゲーム終了後には、ドームシティ内の別会場で表彰式とアフターパーティーが催され、仕事で競技には参加できなかったマジシャンのマギー審司氏ら G ボウラーズの仲間も合流。パーティーの締めは KORN 氏のミニライブだった。

「今日日々の生活の 7 割はボウリングです (笑)。趣味としてやってきたことが少しずつ仕事にもつながってきたのはうれしいですし、今後もこうした大会を継続していくことで、業界を盛り上げていければと思います」

と KORN 氏。次は扇氏の尽力で実現にこぎ着けた「JPBA☆SSS カップ」(11 月 20 ~ 21 日、東京ポートボウル) を、ホストボウラーとして支援する。



▲無論 KORN 氏も競技に参加。ちなみに、自身もホストの大会で優勝した経験は一度もないそう